

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

20 当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 脳への放射線照射後の画像変化についての後方視調査
： 特に微小造影所見の調査

研究の目的

脳への放射線照射は脳腫瘍治療や骨髄移植時に必要不可欠の治療手段です。近年当院では悪性脳腫瘍の治療成績向上に伴い、長期生存症例が多くなりました。しかし脳への放射線照射をすることにより、脳萎縮、認知症、放射線誘発血管腫、放射線誘発脳腫瘍、脳血管障害、ホルモン分泌不全等、合併症が一般に知られており、放射線照射後の QOL 低下が課題となっています。

最近、研究責任者等は 3 年以上生存した放射線照射後脳腫瘍患者のフォローアップ MRI で、臨床症状に影響を与えない、ごく小さな造影病変の出現を指摘しています(学会、論文発表未公表)。

これらの画像変化は従来報告されておらず新しい知見と思われれます。そこで当院にて脳腫瘍の治療を行い、脳への放射線治療をした患者で 3 年以上生存している症例の MRI データを後方視的に検討します。

研究実施期間： 2022 年 6 月 3 日 ~ 2025 年 3 月 31 日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2011 年 1 月以降、当院 MRI 画像 (SPGR 造影画像) が撮影されている脳腫瘍治療にて脳へ放射線照射を受け、かつ 3 年以上生存している症例。放射線照射を含む脳腫瘍治療は 2007 年 1 月以前 (SPGR 造影画像が開始になった時期) に受けていても可能とするが、2019 年 4 月 28 までの症例。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

研究責任者もしくは研究分担者が症例の画像ファイルと診療録から調査をします。追加侵襲などはありません。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

| | |
|-------|--|
| 本件連絡先 | 脳神経外科学講座、准教授、浅野研一郎 電話 0172-39-5115 Mail asanoken@hirosaki-u.ac.jp |
|-------|--|